

家庭礼拝の進め方

2020/3/5

長老代務者会

新型コロナウイルスの感染の拡大に伴い、公同の礼拝が中止になった時の場合に備えて、家庭礼拝の手引きを作成しました。これを機に、日曜日の主日だけでなく、各家庭の中で週日の中でも家庭の中で家庭礼拝をささげることができるようなれば幸いに思います。もし分からないことや、質問があれば遠慮なく牧会スタッフ、または、長老代務者までお知らせください。

1. 家庭礼拝とは

家庭礼拝とは、本来は週日の中で家庭の中で礼拝をささげ、家庭が主にあつて一つとされていく良い習慣だと思います。もともとユダヤ人の安息日は、家庭礼拝を中心とした交わりでもありました。そして、家族全体が主のみことばに聴き、礼拝をささげ神の家族としてのいのちを共有したのです。安息日を家庭の中で過ごすことによって、お互いのことをもっと深く知り関係を深めていくことができるでしょう。

2. 家族の中で自分自身だけクリスチャンの場合

家族がクリスチャンでない場合や、独身で一人暮らしをしている人も教会の中にはおられると思います。そのような場合は、分かち合いはできませんが、ディボーションのように深い主との交わりの中で、いつもよりも長く、主との交わりを楽しみ有意義な時間となることを願います。また、可能であれば、小グループで誰かの家に集まり、礼拝をささげても良いでしょう。その場合は、事前に長老代務者に承諾を得て行ってください。異性同士だけで礼拝をささげたり、異端の教えが広がるなど秩序の乱れを事前に防ぐためです。

3. 時間を設定しましょう。

だらだらと進めるのではなく、決められた時間の中で礼拝をしましょう。主日の礼拝は、行徳キリスト教会で行っているいつもの時間にあわせて行うのが望ましいと思います。そうすれば、同じ時間帯に各家庭で礼拝がささげられることになるからです。主日ではなく、週日に別に家庭礼拝を行う場合は、食事前、寝る前など、家族で話し合っ家族が一緒に集まれる時間帯に行うのが良いでしょう。

4. お子さんがおられる家庭

子どもがいる家庭においては、子ども達が共に礼拝できる工夫をしてください。その場合教団が出しているホームページの中に、子供にわかりやすいメッセージがダウンロードでき印刷できるようになっています。ぜひご活用ください。年齢がある程度、進んだ子ども達には、奉仕を与えて、メッセージを読んでもらったり、分かち合いに参加したりすると良いでしょう。

※検索 (同盟教団 家庭礼拝で検索のトップに出てきます)

5. 家庭礼拝順序

家庭礼拝といっても何も難しいことをするわけではありません。シンプルな分普段の礼拝よりも短くできると思います。その分、分かち合いや交わりの時間を多く費やすようにしてください。

① 賛美：家族で一緒に歌える曲を選びましょう。5分

好きな賛美曲を決めてください。礼拝の中で賛美している曲でも良いですし、讃美歌や聖歌の中から賛美しても良いと思います。子どものいる家庭では、お子さんに賛美曲を決めてもらっても良いでしょう。

② 祈り：ここは家族の長が代表してお祈りしてください。5分

家族の長であるものが、礼拝の最初に祈ることで礼拝であることを意識させ、神様に心に向けるように心がけてください。ふざけていたり、騒がしい場合は礼拝であることをしっかりと伝えて、礼拝をはじめていきましょう。

③ 聖書朗読：その日の聖書本文を読みましょう。可能であれば輪読してください。 5分

続いて聖書を朗読します。もし、お子さんが聖書を読める年代であれば、輪読しながら読むと良いでしょう。聖書箇所はメッセージ箇所にそった箇所を読んでください。

④ メッセージ 15分～20分

一人の場合や、家庭にお子さんがいない場合は教会が準備するメッセージを YouTube からメッセージを聞いてください。メッセージのアドレスは小グループを介してアドレスをお伝えする予定です。お子さんがおられる家庭は、同盟教団が出している家庭礼拝ガイドを用いてくださっても結構です。その場合、ご両親が年齢や成長に合わせてわかりやすく子ども達にメッセージを伝えてください。

⑤ 献金 5分

公同礼拝と同様に主日の礼拝は献金をささげるようにしましょう。ささげられた献金は教会の公同礼拝が再開されてからで良いので、教会に持ってきてささげてください。献金が終わったらどなたかを指名して祈りをささげてもらってください。または、子どもと一緒に祈りをささげるのも良いでしょう。

⑥ 分かち合い：家族が今日のみことば・メッセージから分かち合いましょう。15分

メッセージの分かち合いの時を持ちます。メッセージを通して感じたこと、また教えられたことを中心に分かち合うようにしましょう。また、この時間帯に互いの祈りの課題なども共有してください。この時間を子どもの訓戒や叱るような時間にならないように気を付けてください。それぞれが、自分のことを分かち合う時です。生活の中で実践することを励ましましょう。

⑦ お祈り：家族で祈りの課題を出し合って祈りましょう。10分

お互いのために祈る時を持ちましょう。家族の祈りノートを用意して書いておくと、1週間の中で神さまの恵みを確認することができます。短くて良いので、それぞれが祈る時を持つと良いでしょう。

分かち合いの時間を含めて1時間以内で終わるのが良いと思います。家庭の中でもなかなか深い交わりを持つことが難しい時代の中で、家庭礼拝を通して互いの事を知り、互いのために祈る時間となれば幸いです。主がそれぞれの家庭礼拝を祝福してくださいませうように。